好奇心の授業

大学や専門学校の授業ってどんなだろう？
実はおもしろいものや身近な話題につながるものがいっぱい。
将来学びたい内容がみつかるかも？

http://shingakunet.com/kokishin/
リクナビ進学　好奇心の授業　検索

「私のこと、好き？」or「私のこと、どれくらい好き？」さて、どっちの質問がモテる？

モテの基本は、質問力

恋人選びの条件で、常に上位に入るのが「一緒にいると楽しい人」。では相手に「楽しい人」と思われるには、どうすればいいのでしょうか。実はその秘訣とは、とにかく相手に質問しまくることなのです。

あなたが次々と質問すれば、相手は「自分に興味をもってもらえている」と思います。そして、ここからが重要。相手の答えが自分の考えと同じなら、迷わずこう言いましょう。

「あ、それって私と同じ！」。

すると、相手の心にあなたへの親近感が生まれます。これを心理学で「類似性」といい、お互いの共通点が多いほど、相手への好感度は増すのです。

モテへの近道はどっち？でも、ただ質問するだけではダメ。

では次の質問のうち、モテる女性の質問はどっちだと思いますか？

(1)私のこと、好き？
(2)私のこと、どれくらい好き？

一般的に、質問には2つのタイプがあります。1つめが「はい」と「いいえ」で答える「クローズドクエスチョン」。2つめが、答えが何通りもある「オープンクエスチョン」。

設問の(1)はクローズドです。しかし、これは答えの選択が少ないため、多用すると話題が行き詰まってしまいます。一方の(2)なら「死ぬまで一緒にいたいほど好き」とか、さまざまな答え方が期待できます。これが、会話を長続きさせ、発展させるテクニック。人気のタレントや司会者など、会話のプロのテクニック。ですから、モテる女性に近づくのは(2)のオープンクエスチョンです。

モテる質問の作り方

オープンクエスチョンを上手に作るには、英語で学んだ「5W1H」を意識することが大切。「いつ(When)、どこで(Where)、誰が(Who)、何を(What)、なぜ(Why)、どのように(How)」を質問に入れることで、話が盛り上がり、何より、「類似性」のネタが見つけやすくなります。さあ、オープンクエスチョンを駆使して、あなたもモテる女性になりましょう！

これって実は

心理学

人の心や集団行動原理などを調査、統計、実験などにより解明する。意識や行動の原理を探る文学部系とカウンセリングや臨床心理などを扱う教育学部系がある。

金城学院大学
人間科学部 多元心理学科
でも学べます

大失敗から生まれた!? フランスのアップルパイ【タルト・タタン】

伝統スイーツに隠された、意外な誕生ストーリー

皆さん、タルト・タタンを食べたことはありますか？パリパリ、サクサクのパイ生地の上にキャラメル状のリンゴが敷き詰められた、フランス伝統のスイーツです。これがなんと、うっかりミスから偶然生まれた新しいアップルパイだったってこと、知っていましたか？

とっさの機転でパイ生地をかぶせたら…

19世紀フランス・サントル地方のとあるホテルでは、そのオーナーの娘であるステファニー・タタン（1838-1917）がホテル・レストランのキッチンを担当していました。アップルパイは、型にパイ生地を敷き詰めて、リンゴと砂糖、バターを包んでオーブンで焼くのですが、ステファニーはうっかり生地を敷かずに、パイの中身だけでオーブンに入れてしまったのです。ところが、これによって偶然、えもいわれぬおいしさの焼きリンゴができあがることに。そこで機転を利かせたステファニー。とっさにパイ生地を上からかぶせて焼き上げ、ひっくり返してお客さまに出しました。その結果、リンゴはしっとりパイ生地はサクっとした、独特のスイーツになったのです。

失敗から、新しいものが生まれる

タルト・タタンに隠された歴史、それが教えてくれるのは、先人たちの知恵と工夫。そして失敗だって味方につけてしまうチャレンジ精神です。今は情報があふれているから、ついつい何でも頼ってしまいがちだけれど、新しいものを作るときには、何でも自分でやってみて、確かめてみることが大切です。特に現在、スイーツ業界はコンビニを始め、新しいレシピを開発できる人材を求めています。仕事によっては、毎週数種類のレシピの提出を求められることもあります。たとえ失敗したとしても、そこからヒントを得て、また新しいものを創ろうと思ってほしいですね。

これって実は

食文化学

国や地域、時代や世代によって異なる食生活や食習慣の比較・分析などを行う。研究対象には食材の選び方、献立の立て方、調理法、作法・マナーなども含まれる。

赤堀製菓専門学校
パティシエ科
でも学べます。